

2025(令和7)年度当初予算は暫定予算となります。

福岡県議会『2025年2月定例会（県議会）』に提案された「2025（令和7）年度当初予算は、本年3月に実施される福岡県知事選挙を控えている関係上、4月から7月までの暫定予算となっています。

暫定予算の規模は9,669億5,700万円余です。

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/244381.pdf>



主要事業については以下のとおりです。

○高齢者の健康の保持増進と適切な医療の確保、介護保険の安定化を支援	485億5,871万円
○安全・安心と教育環境の向上につながる学校施設を整備	178億9,224万7千円
○緊急輸送道路等を整備	83億8,497万3千円
○産業振興や地域活性化の基盤となる基幹的道路網を整備	55億8,121万5千円
○ワンヘルスセンターの整備を推進	46億3,280万7千円
○道路の渋滞緩和、歩行者の安全確保	46億2,334万4千円
○活力ある高収益型園芸産地を育成	14億4,816万7千円
○動物保健衛生所の整備を推進	7億4,984万5千円
○西公園に眺望を活かした展望施設を整備	4億8,000万円
○県有施設の脱炭素化を推進	5億 449万6千円
○新生児検査を充実し、疾患の早期発見により発症を防止	1億 200万円
○県庁外来駐車場を一般に開放	5,051万2千円
○「グローバルコネクト福岡」を「CICFukuoka」に開設	4,719万6千円
○災害リスク予測システム導入費	4,640万円
○平成筑豊鉄道沿線における今後の地域公共交通のあり方を検討	1,879万1千円
○2028年世界卓球選手権団体戦の誘致を推進	1,290万2千円
○産前産後の家事・育児の負担を軽減	1,211万7千円
その他、「野生のサルによる人的被害対策を緊急支援」、「障がいのある方の収入向上支援」、「警察人材の確保を強化」、「新福岡武道館開館準備」など。	

2024（令和6）年2月補正予算も計上されています。

国の総合経済対策に基づく補正予算を最大限活用し、地域経済の成長・発展と持続可能性の追求、安全・安心の確保に取り組むとともに、ランピースキン病の被害を受けた畜産農家への緊急支援、先端 技術産業の振興などに取り組みます。

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/244389.pdf>

補正予算の当初の規模は総額899億6,400万円でしたが、その後、税収などの増により税関連市町村交付金の増額、来年度以降の普通交付税の清算及び臨時財政対策債の元利償還に対応するため、財政調整基金等三基金への積み立てなどにより、973億3,200万円となります。



主要事業は以下のとおりです。

○洪水・土砂災害防止、港湾の高潮対策等を推進	286億3,475万1千円
○緊急輸送道路等の整備を推進	114億6,275万円
○医療・福祉の現場で働く方々の勤務環境の改善を支援	99億3,858万7千円
○産業振興や地域活性化の基盤となる基幹的道路網の整備を推進	38億5,350万円
○高プレミアム率地域商品券とデジタル化地域経済活性化	35億6,606万2千円
○福岡市・北九州市へのアクセス向上を図る道路網の整備を推進	31億6,470万円
（左ページに続く）	